



有明高专だより

第126号

2008.11



化粧直しされた友夢創家



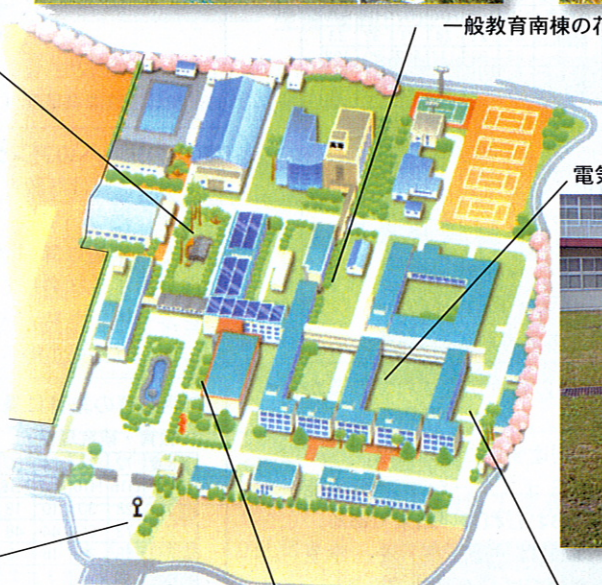
一般教育南棟の花々



電気工学科棟の花々



増設された駐輪場



校内の最近の風景



建築学科棟の菜園



白線が引かれたバス停



耐震改修された図書館



目次

特集 教育改善アンケートの結果から	2・3
シリーズ 研究室訪問	4
シリーズ 企業訪問ー卒業生を訪ねてー	5
オープンカレッジ2008	6・7
第26回 高専祭	8・9
第45回 九州沖縄地区高専体育大会成績	10

第43回 全国高専体育大会成績	11
英語弁論大会・ホンダエコラン・ソーラーボート	12
キャンパスクリーン作業・マスキーガン高校生来校	13
インターンシップ報告(本科)(専攻科)	14・15
トピックス・編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

(数字:学年、M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、専:専攻科 但し、2年生は学年+組)

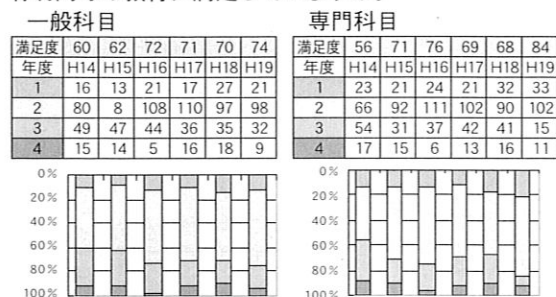
特集 教育改善アンケートの結果から 学校運営検討委員会

学校運営検討委員会では、本校の教育改善に役立てるため、さまざまな方々にご協力いただき、アンケート調査を行っています。今回、過去6年分の結果を総合して集計し、分析を行いました。この特集では、その分析から見えてくるものを記しています。なお、アンケートの集計結果や分析は、本校ホームページの[一般情報]→[JABEE関連]→[アンケート結果&分析]で閲覧できます。

■5年生卒業時のアンケートから

- 教科目の教育において授業等が適正になされていると思うかどうかの「教育実状の適正度」、および学生自身はその教科目で実力が身に付いたかどうかの「到達度」については、全般的にはおおむね良い評価であり、良好な状態へ向上している。しかし、いくつかの科目では、教育方法等の改善を行う必要がある。

有明高専の教育に満足していますか。



※1. 2. 3. 4は回答の選択肢

1 満足 2 おおむね満足 3 やや不満 4 不満

※表最上段は満足度（満足+おおむね満足の%値）

- 学習・教育目標を達成するための教育がなされているかどうかの「教育実状の適正度」、および学生自身は目標を達成できたかどうかの「到達度」については、「A-3：日本語や外国語によるコミュニケーション・発表能力を備えている」を除いて、おおむね良い結果である。A-3に係る科目では、教員は「適正度」を、学生は「到達度」を上げるようながんばりが必要である。
- 他の設問で留意を要する結果は、「シラバスが役に立ったか」、「授業改善アンケートの反映がなされているか」において、肯定的な回答の比率が低いことである。シラバスの利用率を上げ、教員は授業改善アンケートの結果を反映させる授業の改善を行う必要がある。
- 自由意見には、「カリキュラム」、「進級規定」等に関する意見が述べられており、これらの中の建設的な意見については、いくつかは既に改善がなされ、いくつかは検討がなされている状況である。

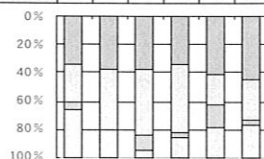
■専攻科生修了時のアンケートから

- 教育全般および各教科目の教育に関する設問の回答では、全般的にはおおむね良い評価であるが、同じ設問でも特定の専攻や系だけが評価が低いものがある。一つひとつの科目で授業内容等をかえりみる必要がある。
- 学習・教育目標の「適正度」、「到達度」については、上述の5年生卒業時のアンケート結果と同じく、全体としてはおおむね良い結果だが、A-3が他の目標に比べて低い結果である。
- 他の設問では、「学会等での発表が有益だった」の回答が高いこと、「ポスターセッション」について、企画はよいが改善してほしいという回答が多かったことが特筆される。ポスターセッションについては、専攻科生は教職員・本科学士の参観を要望しているので、

奮って見学してほしい。

学会等での発表は有益でしたか。

満足度	93	100	89	96	79	94
年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
1 有益	8	6	7	9	10	10
2 おおむね有益	6	7	9	13	5	6
3 あまり有益でない	1	0	2	1	4	1
4 有益でない	0	0	0	0	0	0
5 発表しなかった	8	3	1	4	5	5



※表最上段は満足度（5をのぞいた中での1+2の%値）

■OBの方々へのアンケートから

- 在学時に受けた教育全般に関してどうであったかの「満足度」については、かなり高い評価が得られている。また、学業以外の学生生活についての「満足度」も同様である。卒業して社会に出た後、OBの方々が在学時をふり返った時、大半の方は本校の教育に満足しているという結果が得られている。

有明高専の教育に満足していますか。



※1. 2. 3. 4は回答の選択肢

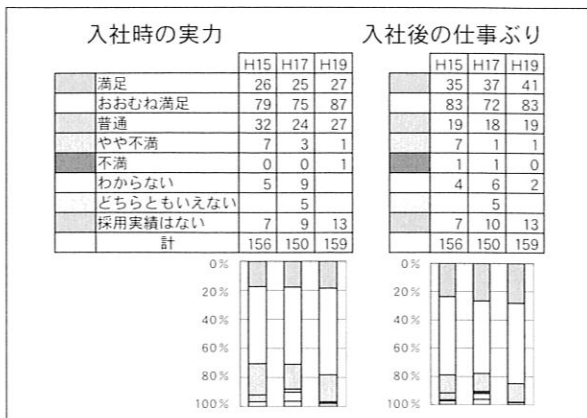
1 満足 2 おおむね満足 3 やや不満 4 不満

※表最上段は満足度（満足+おおむね満足の%値）

- 学習・教育目標の妥当性に関して、9項目の中に「不要な項目」があるかどうかについては、「ない」が大半である。一方、「不足の項目」があるかについては、「高度なコミュニケーション」、「地球・環境問題に対応する知識・技術」などが挙げられている。
- 「有明高専が良くなるためのアイディア」については、「語学力の向上」、「（礼儀・マナー・ルールを守ること等）人間性の向上」、「社会との連携」、「広報の充実」が挙げられている。これらの意見は、今後、カリキュラムや学生生活指導の検討に役立てる必要がある。
- 専攻科を修了したOBの方に対して行った「大学4年生の卒業生と比較してどうですか」という設問については、「引けを取らない」、むしろ「PCや機械の取扱、プレゼンテーション能力、適応能力」等は勝っていると感じられているOBの方が多いという結果であった。

■企業へのアンケートから

- ・有明高専の卒業生・修了生の「入社時の実力」および「入社後の仕事ぶり」に対して、7割以上の企業が「満足・おおむね満足」との回答であり、おおむね高い評価を得ている。OBの皆さんが勤務先で一生懸命努力され、有明高専の評判を高めていただいていることが拝察される。



- ・学習・教育目標の妥当性については、OBアンケートと同様、「不要な項目」はなく、「不足の項目」として「コミュニケーション」というキーワードの重要性が指摘されている。
- ・「専攻科修了生と大学4年卒業生を比較してどうですか」という設問の回答では、専攻科修了生が優れている点として、「即戦力、実技に強い、まじめ」等が挙げられ、劣っている点として、「コミュニケーション能力、一般教養、応用力が乏しい」ということが挙げられている。
- ・企業からの自由意見では、「本校の卒業生・修了生に満足している」という意見がある一方、「倫理・道徳観、モラル・ルールを守ること、コミュニケーション能力」を育成してほしいという要望がある。

学習・教育目標に不足の項目

1	高度な専門の知識
2	人間科学・生命科学の知識技術
3	技術と社会科学を融合させる知識
4	高度なものづくり(設計・製造)の技術
5	地球環境問題に対応する知識・技術
6	地域固有技術
7	起業家育成
8	高度なコミュニケーション
9	その他

OBアンケート

年度	H15	H16	H17	H19	計
1	—	17	9	7	33
2	—	4	1	5	10
3	—	8	8	7	23
4	—	15	11	13	39
5	—	16	12	15	43
6	—	1	1	2	4
7	—	16	12	6	34
8	—	26	10	12	48
9	—	5	3	4	12

企業アンケート

年度	H15	H16	H17
1	23	20	9
2	5	2	6
3	17	6	3
4	28	20	1
5	16	16	2
6	3	1	5
7	9	1	10
8	26	17	11
9	26	11	8

■新入生の保護者の方々へのアンケートから

- ・新入生の保護者の方々の意見では、「授業について行けるか、自主的に勉強できるか、勉強と部活の両立、人間関係、親元を離れての寮生活、通学時の交通安全」等、これからの有明高専での生活についての心配事が多い。保護者の方が、いかに子供のことを気にかけておられるかが推察される。学校は、これらの心配事を解消するための対応が必要である。
- ・また、在校生の現状を見て、服装の乱れや生活態度等に対する厳しい生活指導を望む声もある。

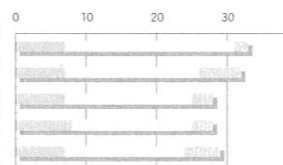
■2年生の保護者の方々へのアンケートから

- ・学習指導のあり方については、約9割の回答が「満足・おおむね満足」である。意見としては「よく指導されている」という肯定的な意見がある一方、「授業の改善や補習の増加等学習面でのサポートの強化」の要望が挙げられており、学校としての改善を行う必要がある。
- ・生活指導のあり方についても、「満足、おおむね満足」の回答が約9割である。しかし、おおむね満足ではあるが、「指導をもっと厳しく、制服指導を厳しく」等、指導強化を望む意見が多く見受けられる。保護者の方が、自分の子供も含めて学校全体としてきちんとしてほしいという気持ちが表れている。学校として、これらの意見への対応が必要である。

有明高専の生活指導について

平成19年度

	1	2	3	4
M	7	24	2	0
E	7	19	6	0
I	7	18	3	0
C	8	17	3	0
A	7	17	5	0
計	36	95	19	0



平成20年度

	1	2	3	4
M	10	22	2	0
E	11	19	8	0
I	11	21	5	0
C	13	20	8	0
A	14	18	5	0
計	59	100	28	0



※1. 2. 3. 4は回答の選択肢

1 満足 2 おおむね満足 3 やや不満 4 不満

- ・制服については、約9割の方が「制服があった方がよい」と回答されているが、デザインや規則の変更、指導の強化も要望されている。
- ・学校との連携については、8割の方が「満足・おおむね満足」と回答されている。意見としては、授業参観の希望が多い。学校としては、実現可能な要望を実施するとともに、担任と保護者の綿密な連絡を行ったりして、より一層の連携を図る必要もある。
- ・その他、夏休み期間の見直し、ウェブページの改善等が挙げられている。

以上のことから、有明高専の現状はおおむね良好であるが改善すべき点はまだあること、OBの方々が頑張っておられること、企業はどのような学生を求めているのかということ、そして、保護者の方が学生の皆さんのことを真剣に気にかけておられることなどがわかります。

ここに記したものは、アンケートの結果分析のほんの一部です。学校運営検討委員会は、すべての結果を分析して、学校に改善すべき点等を提言しています。いくつかは既に改善されたものもありますし、まだ検討段階のものもありますが、学校はより良い学校になるよう取り組んでいます。学生の皆さんも、この現状を認識して、学生生活を向上させてください。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきました卒業生・修了生の皆さん、OBの皆さん、企業の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

シリーズ 研究室訪問

今回は、物質工学科の小林正幸先生と建築学科の下田誠也先生の研究室を訪ね、お話を伺いました。

(聞き手：C科 永田和美)

小林 正幸 研究室 (物質工学科)

現在の研究テーマについてお聞かせ下さい。

一言でいえば、光合成に関する研究です。応用面を意識した研究、基礎的な研究、結構幅広く行っています。

その研究を始めたきっかけをお聞かせ下さい。

広い意味でいうと、学生(大学)時代に与えられたテーマだったからということですね。そのテーマで、一人前の結果が出るのに10年かかりました。その間にいろいろと手を出して、現在に至るという感じです。今のテーマは、はじめのテーマとは様変わりしていますが、光合成という範疇は維持しているかな?という感じです。

研究で苦労されたこと、心がけていらっしゃる事などお聞かせ下さい。

研究で苦労はしてない??というのは嘘でしょうが、あまり苦労とは感じていないですね。好きなことを好きでやっている面があるので。面白いこと、好きなことは、ご飯を食べず、徹夜してもやれるものです。

心がけていることは、「素直になる」です。ですから、結果を色眼鏡をかけてみるのではなく、素直にみる、そして考える、ということになります。当然、分からないことは勉強する。説明がつかないこと、嘘をつくことは嫌いなので。それくらいでしょうか。

今後の研究の方向は?

今とあまり変わらないような気がします。応用研究と基礎研究の二足のわらじでいくと思います。光合成はいろいろ面白く夢を抱かせてくれるので、浮気はしないと思います。

学生へのアドバイスなどありましたら一言お願いします。

「基礎をしっかり、正しく、身に付けて下さい」というのが、アドバイスです。基礎を、しっかり、正しく、身に付けていれば、後はどんな方向にも展開できます。基礎は面白くないでしょうが、石橋を叩いたら崩れたということにならないように努力して下さい。妥協せず、ひたすら努力をして下さい。甘えは禁物です。楽をしても良いことはありません。しかし、楽をしようとすることは重要です。そこから、工夫が生まれてきます。

あと、「なぜなんだろう?」「どうしてなんだろう?」そういう疑問を常に持ち続けて、努力を惜しまないで下さい。その努力のため、最大限先生を使して下さい。



研究室の学生と

下田 誠也 研究室 (建築学科)

現在の研究テーマについてお聞かせ下さい。

炭素繊維やポリエチレン繊維などの連続繊維補強材を用いた鉄筋コンクリート部材の補強に関する研究、ポリエチレン繊維をポリマーセメントモルタルに混入した高靱性ポリマーセメントの開発研究を行っています。

その研究を始めたきっかけをお聞かせ下さい。

学生時代に新しい高性能の素材を使った既存の鉄筋コンクリート構造物の補修・補強に興味を持ち、今の研究分野に足を踏み入れて、現在に至っています。研究で苦労されたこと、心がけていらっしゃる事などお聞かせ下さい。

苦労したことは、自分の研究の内容を文章、図表、イラストなどを使って、誰にでも簡単に分かりやすく、興味を持ってもらうように表現することでした。

心がけていることは、私の研究は実験が主となるので、実験結果を大切にすることです。なぜそのような結果が出たのか、実験結果を踏まえて改善しなければならないことは何かということを常に追求することで、新たな発想や発見が生まれると思います。

今後の研究の方向は?

連続繊維補強材の持つ優れた性能を最大限に生かした鉄筋コンクリート部材の補強工法に取り組んでいきたいと思っています。また、高靱性ポリマーセメントモルタルについても、既存鉄筋コンクリート構造物の補修・補強工事に使えるような高強度高靱性のものを開発したいと思っています。

学生へのアドバイスなどありましたら一言お願いします。

考える力をつけることです。授業、卒業研究、課題だけでなく、学生生活においても、なぜこのようなことをするのか、なぜそのような結果になったのかを逃げることなく向き合いながら自分の力で考えて欲しいです。私はあらゆる物事には意味があると考えています。考える力をつけておけば、物事の背景、仕組み、意義などの理解が深まり、問題を解決する際の糧になると考えています。



研究室の学生と

シリーズ 企業訪問—卒業生を訪ねて—

株式会社 縁

(福岡市博多区住吉4-1-5 福岡GOAビル)

今回は福岡市博多区にある株式会社縁(えにし)にお勤めの本校卒業生の村上江里さん(A科26期)と黒木理恵さん(A科35期)にお話をうかがいました。なお、社長の寶部勝彦さんも本校の卒業生(A科10期)で、当日はご不在でしたが後日後輩へのメッセージをいただきました。(聞き手 A科 松岡高弘)

松岡:どのような仕事をされているのですか。

村上:積算の仕事です。積算とは建物を建てるためにどれがどのくらい必要か、数量を出す仕事です。仕上げセクションと構造セクションに大きく分かれていますが私は仕上げセクションの中の建具セクションを担当しています。サッシの窓、自動扉、シーリング・モルタル量・ガラス・仕上げの積算をして、内訳書を作成して、ゼネコンに提出します。

黒木:私は構造セクションを担当しています。そこでは、構造図から柱や梁を打設するのに必要なコンクリート、型枠、鉄筋の数量や、基礎のための根切りの土量を出したりしています。

松岡:今の仕事に就こうと決めた理由は何ですか。

村上:高専の5年生の時、就職を考えるに当たって女性が働くことができる仕事として積算を初めて知りました。その当時、当社には1つ上の女性の先輩が既に勤められていたので、安心して決めました。

黒木:4年生の夏季実習の際に、当社でお世話になり、とても楽しく実習をさせていただきました。そして、もっと積算の仕事の中身を知りたいと思っていました。だから、迷わずに当社を希望し、就職することができました。

松岡:今の仕事を行うに当たって高専での勉強で特に役立った教科はありますか。

村上:建築用語の基礎知識があったから積算の仕事に就いた最初からすんなり仕事にはいることができました。

黒木:私の場合は鉄筋コンクリート構造や鋼構造等の構造の授業、建築材料や構法が役に立っています。

松岡:仕事を進めていく上で気をつけていることはありますか。

村上:正しく数量をひろっていく地道な作業なので確実に仕事をやっていくことを心掛けています。構造と仕上げの取り合い部分をはっきりさせておかないと落としが出てくることがあるので、しっかりと打ち合わせを行っています。

黒木:積算という仕事は建物を建てる金額の増減に直接関わるので落としがないかどうか、チェックを徹底して行っています。

松岡:学生時代を振り返って、後悔していることはありますか。

村上:高専での勉強は積算に直接に関わるものはありませんが、構造をもっと勉強しておけばよかった、と思います。また、積算の授業があればよかったな、と思います。納まりがわからないと積算できない場合が多いので、納まりのことをもっと教えてほしかったと思います。

黒木:学生の頃は構造のことを気にしていなかったのですが、私も構造をもっとしっかり勉強しておけば良かったな、と思います。



左:村上さん、中央:寶部さん、右:黒木さん

松岡:仕事をする上で困ったことなどありますか。

村上:今は自分の担当をこなしながら、新人教育も担当しているので、忙しく日々を過ごしています。最近の新人に対して困ったことがあります。それは、教えたことが知識として身についていかない、仕事に反映させることができない新人が多くなってきていることです。大きな声で叱ることもあります。

黒木:納まりが図面にきちんと描いてなくてよくわからない場合は困ります。その時は、理解できるまで先輩に聞いています。

松岡:後輩へのメッセージがあればお願いします。

村上:積算という仕事は高専生には身近な仕事ではないけど、年間に数多くの図面、しかも日本全国の図面を見ることができるので楽しい仕事だと思います。前にも言いましたが、高専で学んだことが仕事をする上で役に立っているので、高専でもっと勉強すればよかったと後悔しています。だから、在校生の方はしっかりと勉強に励んでください。

黒木:製図やレポート等の課題を計画的に取り組んでこなかったのが提出間際は大変でした。仕事をする上では計画性がとても大切だと感じています。また、学生の時は目先のことしか考えておらず、将来を見据えて勉強に取り組んでこなかったと思います。何か目標をもって計画的にいろいろなことに挑戦してほしいと思います。

松岡:卒業生からは、もっと高専の時に勉強しておけば良かった、という話をよく聞きます。学生の中には将来のことは気にせず、過ごしているから、本気で勉強していない人もいるでしょう。今日はお忙しいところお話をきかせていただき、ありがとうございました。

以下は、社長の寶部さんからいただいたコメントです。

寶部:私は高専在学中にあまり勉強はできなかったのですが、在校生諸君に比べれば、学業成績は下位でしょう。しかし、卒業後、ゼネコン勤務を経て、積算事務所に入り、そして、積算事務所を生業としました。私が在校生諸君に言いたいこと、それは、当社の社員全員にも言っていることですが、24時間という時間は全てにおいて平等である、ということです。24時間を大切にし、いかに生きるか?それは学生であっても、社会人であっても、同じスタートラインです。今後、社会に出る皆さんには24時間を大切に生きてほしいと思います。また、人と人との出会い、縁を大切にしてほしいと思います。良きにつけ、悪きにつけ、出会いを大切に、というのが私の信条です。今後、色々なことが待っているでしょうが、今を大事に生き、今会っている人を大切にしてください。

オープンカレッジ2008

8月22日(金)、23日(土)の2日間にわたり、「オープンカレッジ2008～みて・ふれてドキドキ体験!!～」を、悪天候にも関わらず、延べ1100名を超える来場者を迎え、無事に開催することができました。このオープンカレッジは、地域の方々に本校を紹介して交流を深めると共に、科学に基づいた「ものづくり」に触れて、小中学生に理科への興味、そして本校の魅力を知る機会になることを期待しており、今年で4回目の開催となります。

本年度は、各学科の特徴を活かした「ものづくり体験教室」、進学を控えた中学生に向けた学校・学生生活紹介「高専ってどんな学校?」、部活動などを紹介した「学生生活紹介」、専攻科生が取り組んだ「福祉介護機器の紹介」等が行われました。

また、今年で14回目を迎えた「ロボットJリーグ」には、大牟田・荒尾地区近郊から29チームの参加があり、約110名の子供たちは5日間をかけてロボットを製作し、最終日の23日には、力作のロボットによる白熱した熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

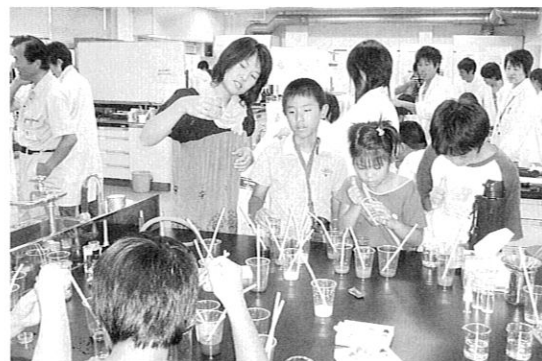
あいにくの天候でしたが、地域の方々、周辺の小中学校への定着が感じられるものでした。



今年は「～みて・ふれてドキドキ体験!!～」をテーマに、各学科企画における体験教室や学科紹介、小中学生によるロボットJリーグ、さらに昨年より充実した学校紹介で構成されました。

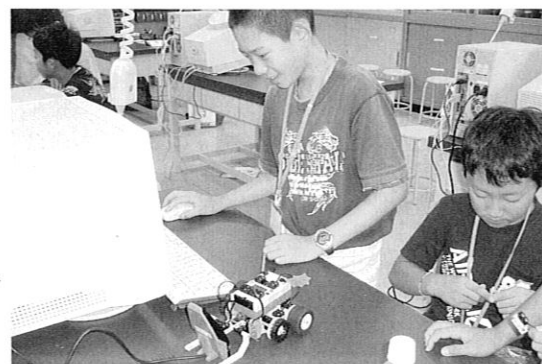
物質工学科

- ・いろいろな化学実験を体験してみよう
- ・遊んで学ぼう化学の不思議



電気工学科

- ・クリップモーターで回転競争だ!
- ・レゴロボ大作戦2008



※当日、学内は全面禁煙です。期間中に撮影させていただいた写真は、来年度オープンカレッジに使用させていただきます。

～開催日時～

2008年8月22(金)～23日(土)

午前9時～午後4時[食堂利用/午前11時～午後2時]

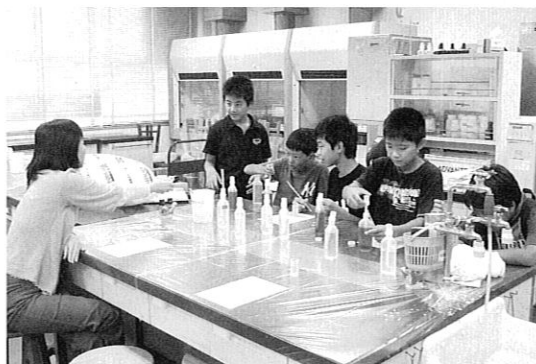
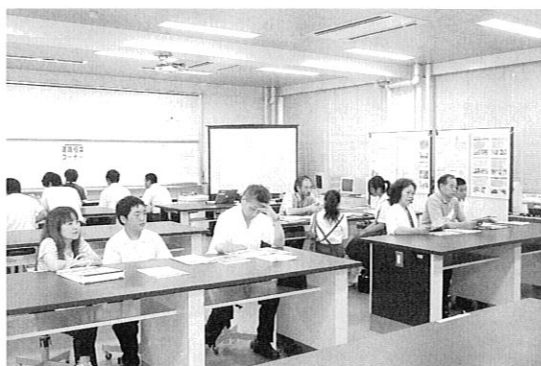
[23日午前9時30分よりロボットJリーグ同時開催]

お問い合わせ/有明工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
TEL:0944-53-8627 URL:<http://www.rcariake-nct.ac.jp/>



学校・学生活動紹介

- ・「高専ってどんな学校？」
- ・進路相談コーナー



一般教育科

- ・楽しい理科実験～液体窒素とスライムで遊ぼう!～

ロボットリーグ



電子情報工学科

- ・ピカピカ光る電子ホテル
- ・電子情報技術の体験



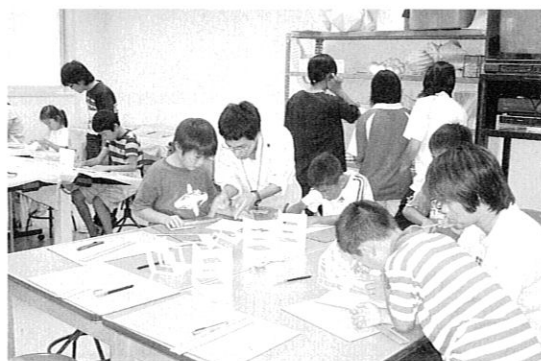
機械工学科

- ・風船が割れる瞬間の目撃者
- ・ロボコン名人への道
- ・コンピューターでロボット設計



建築学科

- ・楽しい折り紙建築
- ・作品展示





第26回

高専祭

Think Globally · Act Locally

～今から始めよう、未来の為に～

有明工業高等専門学校

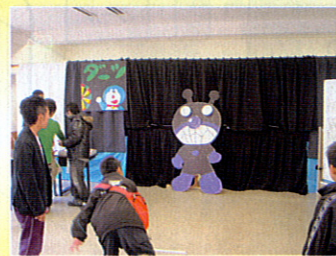
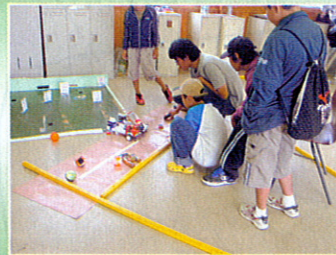
平成20年11月1日(土) 12:00～15:30
11月2日(日) 9:00～15:30

※車での来場はご遠慮ください。

11月1日(土)・2日(日)、秋晴れのもと、第26回高専祭が開催されました。

今回のテーマは、「Think Globally · Act Locally ～今から始めよう、未来の為に～」で、環境問題等を身近な取組によって解決しようという気持ちが込められています。

ご来場いただきました保護者の皆様、近隣の皆様、ありがとうございました。

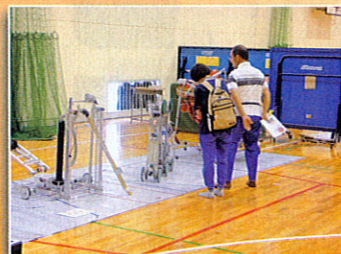
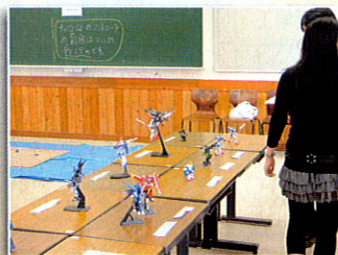
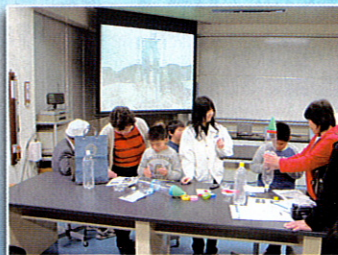


文化講演会

高専祭に先立ち、10月31日(金)午後、第1体育館において、文化講演会が開催されました。

本校機械工学科2期生で現在宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙輸送ミッション本部鹿児島宇宙センター所長の園田昭眞氏をお招きし、「日本のロケット打ち上げ」という演題でご講演いただきました。プロジェクトを使い、クイズ形式を取り入れ学生と対話しながら、日本のロケット打ち上げの現状を語っていただき、最後に、先輩として現在の在校生に対するメッセージを贈られました。

また、高専祭当日は、JAXAと本校高専祭実行委員会との共催で、宇宙教室を開催していただき、宇宙服のレプリカ試着やペットボトルロケットの製作・打ち上げ等が行われました。



第45回 (平成20年度)

7月12日(土)~20日(日)

九州沖縄地区高等専門学校体育大会成績

【全】は全国大会出場

〈北九州高専担当〉

◎陸上競技

男子1500m	【全】3位	松藤 仁(1M)
男子110mH	【全】4位	柴田 康博(4E)
男子走幅跳	【全】優勝	平田 雅之(3M)
男子円盤投	【全】3位	荒木 貴光(5I)
男子やり投	【全】3位	竹内 卓也(3A)

◎ソフトテニス

予選リーグ敗退

◎バドミントン

男子団体戦	【全】準優勝	
女子団体戦	【全】準優勝	
男子ダブルス	【全】優勝	田上 拓弥(4E)・岡崎 雄介(1E)
	3位	猿渡 大祐(5A)・武川 浩之(3E)
女子シングルス	3位	清水 邑佳(2-3)
女子ダブルス	3位	坂口 由起(1I)・相坂 千恵(1C)
	3位	塚本真由美(5C)・清水 邑佳(2-3)

◎水泳

団体	優勝	
男子400mフリーリレー	【全】2位	
男子100mバタフライ	【全】2位	田原 徹(3M)
男子200mバタフライ	【全】優勝	田原 徹(3M)
	【全】2位	山口 大志(5I)
男子200m背泳ぎ	【全】2位	金子 貴哉(2-5)
男子100m自由形	【全】優勝	金子 貴哉(2-5)
男子800m自由形	【全】3位	蒲池 悠斗(3C)
男子200m個人メドレー	【全】2位	高山 茂樹(1M)
女子100m自由形	【全】2位	西田 絵美(2-1)
女子50mバタフライ	【全】2位	西田 絵美(2-1)

◎ハンドボール

2回戦敗退

〈久留米高専担当〉

◎硬式野球

2回戦敗退

◎バスケットボール

男子	予選リーグ敗退
女子	準優勝

◎卓球

男子団体戦	【全】優勝	
女子団体戦	準優勝	
男子ダブルス	【全】優勝	中野 翔太(4E)・山下 稔貴(1C)
	【全】準優勝	渡辺 大也(4I)・坂井 寿光(3E)
男子シングルス	【全】優勝	渡辺 大也(4I)
	3位	中野 翔太(4E)
女子ダブルス	【全】準優勝	越智芙美香(5I)・田中 友梨(5C)
女子シングルス	【全】優勝	越智芙美香(5I)

◎剣道

男子団体戦	予選リーグ敗退
女子個人戦	3位 内野 愛(5A)

〈佐世保高専担当〉

◎サッカー

2回戦敗退 (ベスト8)

◎柔道

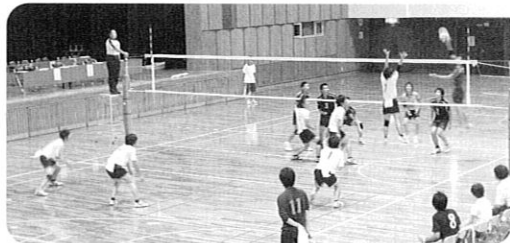
男子団体戦	予選リーグ敗退	
男子個人戦90kg以下級	【全】優勝	堺田 玉輝(3C)
女子個人戦63kg超級	【全】優勝	東田 紗季(1I)

◎バレーボール

男子	準々決勝敗退 (ベスト6)
女子	3位

◎テニス

男子団体戦	1回戦敗退
女子団体戦	3位
女子シングルス	【全】準優勝 坂本知栄子(51)



第43回 (平成20年度)

8月17日(日)~26日(火)

全国高等専門学校体育大会成績

〈函館高専担当〉



◎陸上競技

男子1500m	予選敗退	松藤 仁(1M)
男子110mH	予選敗退	柴田 康博(4E)
男子走幅跳	18位	平田 雅之(3M)
男子円盤投	14位	荒木 貴光(5I)
男子やり投	6位	竹内 卓也(3A)

◎バドミントン

男子団体戦	3位	
女子団体戦	ベスト8	
男子ダブルス	3位	田上 拓弥(4E)・岡崎 雄介(1E)



◎柔道

男子個人戦90kg以下級	3位	堺田 玉輝(3C)
女子個人戦63kg超級	3位	東田 紗季(1I)

〈釧路高専担当〉

◎卓球

団体戦	3位	
男子ダブルス	予選ブロック2位	中野 翔太(4E)・山下 稔貴(1C)
	予選ブロック4位	渡辺 大也(4I)・坂井 寿光(3E)
男子シングルス	予選ブロック4位	渡辺 大也(4I)
女子ダブルス	予選ブロック2位	越智芙美香(5I)・田中 友梨(4C)
女子シングルス	3位	越智芙美香(5I)



〈苫小牧高専担当〉

◎水泳

男子400mフリーリレー	4位	
男子100mバタフライ	予選10位	田原 徹(3M)
男子200mバタフライ	予選10位	田原 徹(3M)
男子200mバタフライ	予選9位	山口 大志(5I)
男子200m背泳ぎ	2位	金子 貴哉(2-5)
男子100m自由形	5位	金子 貴哉(2-5)
男子800m自由形	16位	蒲池 悠斗(3C)
男子200m個人メドレー	予選9位	高山 茂樹(1M)
女子100m自由形	5位	西田 絵美(2-1)
女子50mバタフライ	5位	西田 絵美(2-1)
総合成績	5位	



〈旭川高専担当〉

◎テニス

女子シングルス	3位	坂本知栄子(5I)
---------	----	-----------



第38回 西日本地区高等専門学校弓道大会

7月12日(土)・13日(日)

〈松江高専担当〉

男子団体戦	予選ブロック敗退
女子団体戦	準優勝



英語弁論大会

7月25日(金)

1C 原田 瀬理香

今回、都城高専での第41回九州沖縄地区国立高専英語弁論大会のレシテーションの部に参加し、2位に入賞することができました。先生や先輩方には暗唱の練習の指導など、色々とお世話になりました。

大会の前日には交流会があり、今回参加された他高専の方々と仲良くなることができました。私は初め、この大会で入賞することを目的に参加したのですが、交流会を通じてそのような考えなどはなくなりました。

大会では皆さんのスピーチを聞かせていただき、考えや思いが伝わってきました。私はレシテーションの部で入賞して嬉しいと感じましたが、他高専の方々と仲良くなれたことが何より一番の喜びです。今回は本当に素晴らしい体験をすることが

でき、自分自身が変われたと思います。

41ST KYUSHU OKINAWA KOSEN SPEECH AND RECITATION CONTEST



表彰式の様子

ホンダエコラン 7月27日(日)

5M 菊池 徳

私たち自動車工学部は、HONDAエコノパワー自動車燃費競技会(エコラン)に毎年出場しています。この大会は、1ℓのガソリンでどれだけ距離を走れるかを競うもので、自動車メーカー、バイクメーカー、大学、高専、高校、一般のチームが、自分たちで開発した自動車に参加しています。

今年の車輛には、軽量化や風の抵抗を受けにくくするカバーなどの改良を加えて、さらにドグクラッチと呼ばれる部品を取りつけ大会に挑みましたが、記録は140km/ℓで、昨年度からの燃費向上はできませんでした。

大会当日は、車輛に予想外のトラブルが起きたりして、悔いの残る結果となりましたが、その分レースの世界の厳しさを実感でき、多くのことを勉強できました。

来年は新部長を中心に新しく車輛を製作し、目標とする1000km/ℓに近づいてほしいです。



スタート直前の様子

ソーラーボート 8月2日(土)・3日(日)

4M 石井 和喜

私たちソーラーボート愛好会は、本年度も柳川ソーラーボート大会に参加しました。今年の艇は、3年前の船体を元にモータやソーラーパネル、ラダーの変更等、大幅に改良を加えました。

大会の結果は、周回レースでは予選敗退、スラロームコンテストでは16位(学生部門24チーム中)と、成績は振るいませんでしたが、製作においての技術は確実に向上しています。

今後は、ソーラーボートだけでなく、ソーラーカー等の太陽エネルギーを活用した新たな分野にも視野を広げ活動していきたいと思っています。



競技中のボート

★ キャンパスクリーン作業 ★

10月21日(火)

10月21日(火)、7限短縮授業のあと、キャンパスクリーン作業を実施しました。11月1日(土)と2日(日)に開催される高専祭にむけて、全学生および全教職員により除草などの作業をしましたので、これによりキャンパス内が大変きれいになりました。



マスキーガン高校生 来校 10月7日(火)

10月7日(火)、アメリカのマスキーガン高校から高校生訪問団11名(男子6名・女子5名)が来校しました。マスキーガン高校のあるミシガン州マスキーガン市は、大牟田市と姉妹都市協定を締結しており、今回の訪問はその活動の一環です。

1 I、3 M、4 Aの英語の授業への参加や、機械工学科の実験・実習の見学を通じて、学生同士の交流を深めました。また、放課後には本校学生会との交流会が開催されました。学生会長の4 M柿原君から大牟田市や有明高専の紹介が、マスキーガン高校の代表生徒からスピーチがあり、その後、各々が英語で自分の考えを伝え合いながら、楽しく親睦を深めました。



英語の授業に参加



M科実験・溶接マシンの見学



交流会の様子



記念写真

インターンシップ報告 (本科)

インターンシップを終えて

4M 杉野 麻沙美

私は、愛知県にあるムラテックC.C.S株式会社で、1週間企業実習をさせていただきました。

ムラテックC.C.Sは、工作機械や、スタッパークレーン、コンベヤなどの物流機械を作っている会社です。実習では、安全の基本から、スタッパークレーンの操作、レーザ加工、手仕上げ加工での文鎮作りなどを5日間にわたり行いました。その中で、会社の方とたくさん関わり、作業の基本的なことだけでなく、企業実習ならではの会社内部の話を聞かせていただきました。そのおかげで、会社のことや仕事というもののイメージが少し見えてきたような気がします。また、他の実習生も高専生だけだったので、とても仲良くなることができました。

インターンシップを終えて、様々な体験をし、たくさんの人に会い、自分自身本当に成長できたと思います。



搬送車の実習風景

株式会社 明電舎 太田事業所での実習

4E 甲木 友香里

私は8月18日から22日までの5日間、株式会社明電舎の太田事業所で実習を行いました。

明電舎自体は企業向けの企業で、その中でも太田事業所は主にモーターを応用した商品を生産しています。私が配属されたのは、主に動力システムの操作盤の試験や検査を行う部で、部品・銅線のチェック、ハード同士の配線などや実際に電源を入れての動作の確認試験をしました。明電舎の商品の場合、お客様によって仕様が違うため設計書も違ってきます。チェックの大まかな手順は毎回同じでも、外観や部品、調節する値は違うので、まるで職人が一つひとつ仕上げていく工程に似ています。「従業員は皆、仕事に面白さと誇りを持って接して、日々勉強をしていくのだ」と、私がお世話になった方がおっしゃいました。また、作業中に学校で学んだ内容が出てきて、在学中の勉強の大切さが身に染みしました。5日間という短い間で学校の勉強では学習できないとても貴重な勉強をさせてもらえました。誇りと楽しさをもって仕事に挑

めるように、今のうちにたくさん知識を増やしたいと思いました。



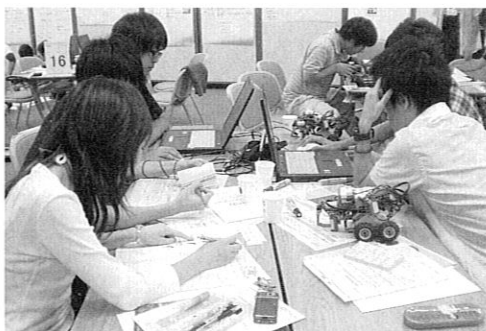
シーケンサを使った検査の作業中

サマーインターンシップを通して

4I 武末 真実

私は東京にある富士通株式会社で1週間の夏季実習を行いました。

富士通のインターンシップは職場で行われるのではなく、全国から集まった高専生である私たちに対しての講義や、チームでのものづくりを体験するというカリキュラムでした。最初に行ったのは、初対面の班のみんなと打ち解けるということでした。内容は自己紹介や質問、共通点を出し合うことなどを通し、グループワークを行うに当たっての準備をすることでした。次に、企業と社会の関係性を学びました。その後「富士通はお客様視点で発想している」ということで、その考えを基本としたものづくりを行いました。ものづくりでは、開発工程を通してチームワークの必要性を感じました。この夏季実習に参加して、学校では経験できないようなとても有意義な時間を過ごすことができました。



グループワークの風景

インターンシップに参加して

4C 吉田 裕伸

私は茨城県の花王鹿島工場で9日間の夏季実習を行いました。工場は各地に7箇所ありますが、鹿島工場は唯一飲食物を取り扱っているところで、他にもトナービンダーや家庭用洗剤に入っている酵素も製造しています。

実習テーマは「家庭品基材の合成」だったのですが、それ以外にも消防車の操縦、各種検査など、ここでは挙げられないほどの実習をしました。工場では、従業員や設備に対して、充分すぎるほどの安全配慮がなされていて驚きました。今回の実習を通して、学校で勉強していることや学生実験が、社会でどのように活かされているかを知ることができたのが一番大きく、いい刺激になりました。何のために勉強しているか分からないとなかなか能力を伸ばせないと思いましたし、この経験がこれからの学校生活に活かされればと思いました。



他高専の実習生と一緒に

善導寺での10日間

4 A 加藤 練多

私は、久留米市にある文化財建造物保存技術協会の善導寺事務所に、10日間のインターンシップに行きました。事務所では、ちょうど実施設計の真っ最中で、毎日8時から22時頃まで職員の方と一緒に作業をしました。

研修内容は主に、改修中の大庫裏・役寮・対面所の模型製作を行うことでした。はじめはただ何となく作業をしていましたが、所長の東坂さんに言われた「単純で地味な作業でも、それを自分なりに考えて工夫し、楽しむかが仕事において一番大事だ。」という一言で、自分が任された仕事を精一杯やることの大切さを学びました。また、改修中の現場を見せていただいたり、作業をしている大工さんの話も聞くことができ、文化財の保存が様々な職種の技術の融合であることを肌で感じる事ができました。このインターンシップでの経験を、来年の就職活動に役立てたいです。



事務所にて模型を前に

インターンシップ報告 (専攻科)

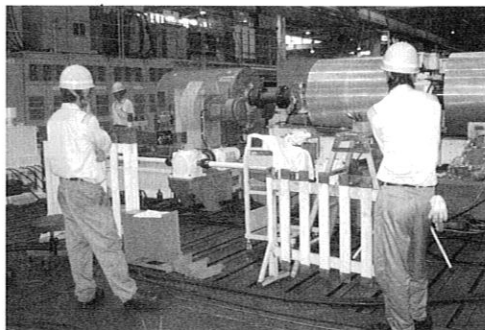
夏季実習を終えて

生産情報システム工学専攻1年 高瀬 剛

私は、群馬県太田市にある株式会社明電舎の太田工場で、10日間夏季実習を行ってきました。この工場では、自動車試運転時に使用されるダイナモメータを製造しています。

私は、このダイナモメータの試験を行う部署へ配属されました。工場で作業するといったことは初めてで、何をして良いのかと戸惑うことが多々ありました。しかし、現場の独特の雰囲気の良いことや作業員の方々のサポートもあり、とても良い実習になったと思います。

2週間足らずという短い期間でしたが、とても貴重な体験ができました。この実習で学んだことをこれからの人生で役立てていきたいと思っています。



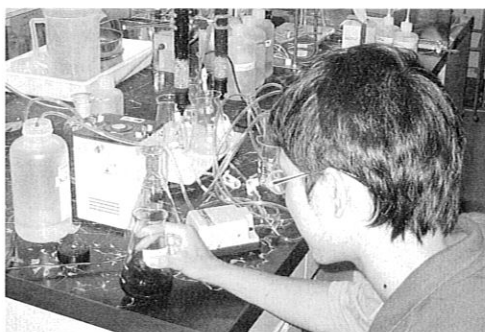
作業現場の風景

夏季実習を通して

応用物質工学専攻1年 平川 堅士

私は、大牟田市にある室町ケミカル株式会社で、10日間夏季実習を行いました。室町ケミカルは、健康食品の製造やイオン交換樹脂関連の業務など、様々な事業を行っている会社で、現在私が勉強している分野と非常に近いものがあります。

今回の実習では、商品開発課にお世話になり、現在進行中の事業に関する研究を手伝いました。民間企業で行われる研究は実用化を目的としており、そのためにはコスト、お客様からの要求など様々な条件を満たすことが重要であるため、思い通りに行かないことも多々あるそうです。学校で行う研究とは趣が違う部分を感じました。また、会社で仕事を行うにあたっての人間関係の重要性を改めて感じ、仕事は一人で行うことはできないと学びました。今回の夏季実習は、今後の学生生活および社会に出たときに、大いに役立つ経験になるとと思います。

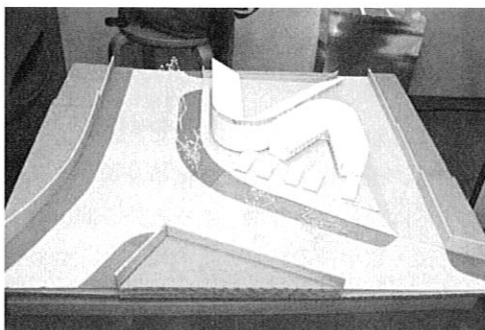


作業の風景

「NKS アーキテクト」での実習

建築学専攻1年 釜我 勇志

自分の知識が現場のどこで役立ち、何が不足しているのかを知るため、オープンデスク制度を利用して、福岡市内の設計事務所に10日間ほどお世話になりました。実習先は、住宅から都市まで幅広い設計を手がける「NKS アーキテクト」という設計事務所で、私はある住宅の基本設計に携わりました。実習中は、図面などの表現方法を学ぶとともに、学校の勉強だけでは理解できない一連の設計業務を体験できました。また、施主との話し合いには私の成果物を使用したため、責任感をもって取り組まなければならなかったことが、学校の授業とは違う大変貴重な体験でした。今回の実習で体験した様々なことは、これから社会に出る私にとって大切な経験となりました。



製作した模型

第30回全国高等専門学校通信弓道大会で個人優勝

第30回全国高等専門学校通信弓道大会で3Mの永田福人君が12射中11中という見事な成績で、熊本電波工業高等専門学校の弓道部員2人とともに男子個人の部で優勝しました。今回の大会ではその他に女子個人の部で4C佐藤美紀さんが3位、男子団体は3位となり、女子団体は準優勝に輝きました。



救命処置(AED操作)講習会

10月15日(火)5時限目の合同ホームルームで、3年生全員を対象に、救命処置についての講習会を開催しました。第一体育館において、4グループに分かれ、グループごとに大牟田市消防署の方のご指導により、倒れている人を発見した時、意識を確認すること、救急車を呼ぶこと、心臓が正常でない時はAEDを持ってくることなどを学びました。そして、人工呼吸と胸骨圧迫による心臓マッサージを行う方法やAEDによる除細動を行う方法を学び、実際に数十人がこれらのことを実演体験しました。



建築学科非常勤講師の高巢先生が 国土交通大臣から表彰

本校建築学科の非常勤講師を平成8年から担当していただいている(株)高巢設計事務所代表取締役の高巢光男先生が、平成20年7月、建築事業の振興に尽力し、公共の福祉の増進に多大な貢献をしたとして国土交通大臣から表彰されました。

高巢先生は、昭和52年に設計事務所を開設し、(社)福岡県建築士事務所協会に入会して、平成2年から理事、平成19年からは副会長に就かれています。



建築学科中島美登子先生が2008年日本建築学会奨励賞受賞

私は「自閉症者グループホームにおける生活行動と支援に関する研究－ノースカロライナ州のTEACCHプログラム・グループホームを事例として－」で、2008年日本建築学会奨励賞を受賞しました。この論文は自閉症児者の支援プログラムであるTEACCHの構造化手法に基づいて、環境の調整と対人的な支援の双方によって構成される新たな支援モデルを提示し、同手法を用いた自閉症者グループホームの分析を通じてその有効性を論証したものです。利用者の行動観察調査やインタビューに基づいて利用者一人ひとりの生活環境のあり方と支援との関係を分析し、構造化手法を用いた支援が利用者の環境理解を助け、自発的な生活行為の組み立てを促すことを明らかにしました。この論文では、一人ひとりにふさわしい生活環境のあり方はどういうものかという点に焦点を当ててまとめてみました。まだまだ不十分な内容ですが、今後もこの方向で研究を進めて行きたいと思っています。

(建築学科 中島美登子)



編集後記

日増しに寒さが加わり、今年も残すところあとひと月余りとなりました。年の初め、進級時、新学期に立てた目標や計画で、やり残していることはありませんか。学生生活は、長いようで、あっという間に過ぎるものです。明日の自分のため、数ヶ月後・数年後の自分のために、今、やるべきこと、考えるべきことを逃さないよう、ここでちょっと思い返してみてください。

この号では、皆さんの夏から秋にかけての活動をまとめています。皆さんが、自分の学生生活を振り返り、新たに進み始めるきっかけになれば幸いです。

有明高専だより 第126号

平成20年11月27日

編集・有明高専広報室

発行・有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861(学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>

